

社会福祉原論

[講義] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》志水 幸koh@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

この講義では、社会福祉学の基礎となる科目で、社会福祉の制度・政策に関する歴史や哲学・原理等について概説する。

【学修目標】

この講義の目的・ねらいは、以下のとおりである。

現代社会における社会福祉制度の意義や理念、社会福祉政策との関連について理解する。

社会福祉政策におけるニーズと資源について理解する。

社会福祉政策の課題について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業計画の概要・自己学習の方法を理解する。 (講義、以下同様)	志水
2	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度の概念を理解する。	志水
3	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度の理念を理解する。	志水
4	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉政策と政治との関係を理解する。	志水
5	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉制度と社会福祉政策との関係を理解する。	志水
6	現代社会における社会福祉制度と社会福祉政策	社会福祉政策の主体と対象を理解する。	志水
7	社会福祉制度の発達過程	社会福祉の歴史類型を理解する。	志水
8	社会福祉制度の発達過程	欧米の社会福祉の歴史を理解する。	志水
9	社会福祉制度の発達過程	わが国の社会福祉の歴史を理解する。	志水
10	社会福祉制度の発達過程	ソーシャルワークの社会的再編を理解する。	志水
11	社会福祉政策の課題	社会福祉政策の国際比較の枠組みを理解する。	志水
12	社会福祉政策の課題II	社会福祉政策と福祉レジームを理解する。	志水
13	社会福祉政策の課題	社会問題を社会構造との関連から理解する。	志水
14	社会福祉政策におけるニーズと資源	ニーズと資源の概念を理解する。	志水
15	社会福祉政策におけるニーズと資源	社会福祉サービス供給システムを理解する。	志水

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験(筆記試験)により100%評価する。

【教科書】

『社会福祉学習双書』編集委員会編『社会福祉学習双書 第1巻 社会福祉の原理と政策』全国社会福祉協議会, 2026年

『国民の福祉と介護の動向2024~2025』厚生労働統計協会, 2024年

『社会福祉小六法2025』ミネルヴァ書房, 2025年。

【参考書】

日本社会福祉学会事典編集委員会編：社会福祉学事典．丸善出版，2014年．
その他、講義の際に適宜提示する。

【備考】

この科目は、後期に開講される「社会福祉原論」と併せて、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「社会福祉の原理と政策」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「人間の尊厳と自立」に該当する。さらに、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

この科目は、2年次に同時開講される社会福祉系の専門教育科目と密接な関わりを持つものである。そこで、予め当該科目で学んだ知識を整理しつつ、この科目で学んだ知識と関連づけながら体系的に理解した上で講義に積極的に参加する学修習慣が肝要である。また、報道等で取り上げられる社会福祉・社会保障関連の政策動向に注目し、その問題について深く考えてみる姿勢を身につけることが大切である。

講義で提示する課題に関して、事前学習に2時間、事後学習として2時間、教科書、参考書等を活用し、取り組むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している